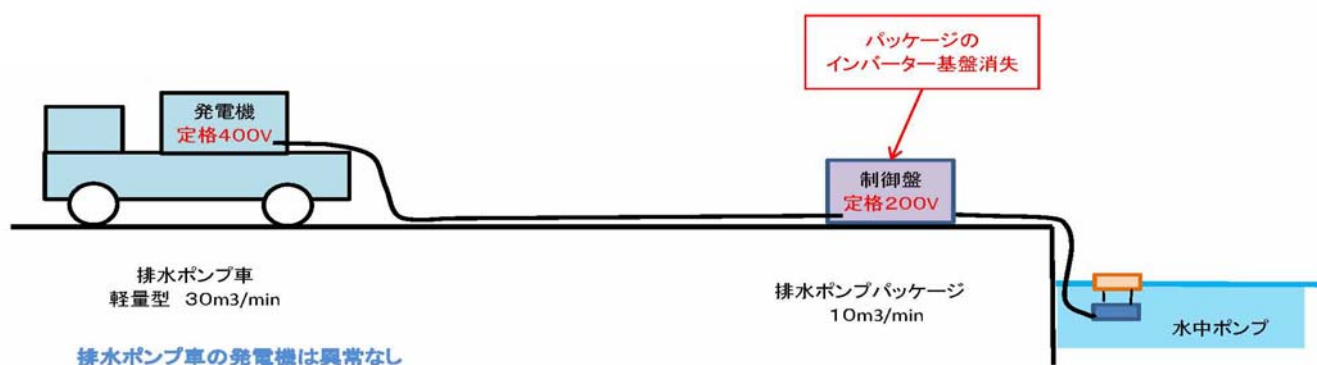


発生日時	平成 23 年 7 月 28 日 (木) 14 時 40 分			天候	晴
工事情報	河川系事務所 役務				
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度	
	-	-	-	排水ポンプパッケージの制御盤のインバーター基盤消失	
事故概要	災害対策用機械の点検にて、排水ポンプパッケージの制御盤のインバーター基盤を消失させたもの。				
公衆損害事故—その他 公衆損害事故					

事故発生状況



- ・点検に使用した排水ポンプ車の発電機の定格電圧が、今回点検を行う排水ポンプパッケージ制御盤の定格電圧と差があったため、消失したもの。
- ・特記仕様書で定められていた発電機を用いていなかった。
- ・点検前に発電機の定格電圧を確認していなかった。

【事故発生原因】

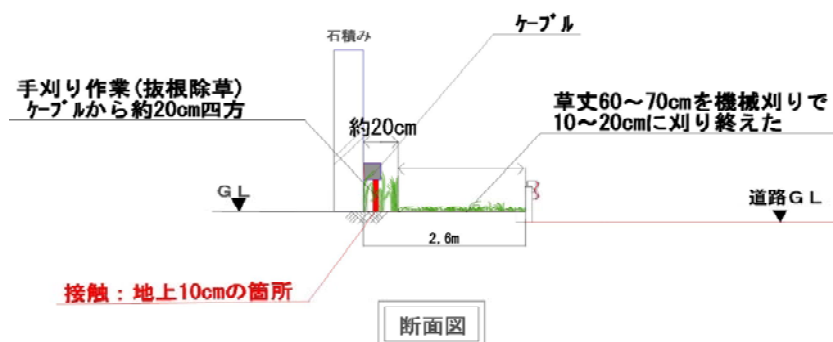
- ・作業前に使用する機械の規格を確認していなかったため。

【事故防止のポイント】

- ・作業前に機械の規格を確認すること。
- ・決められた機器を使用すること。

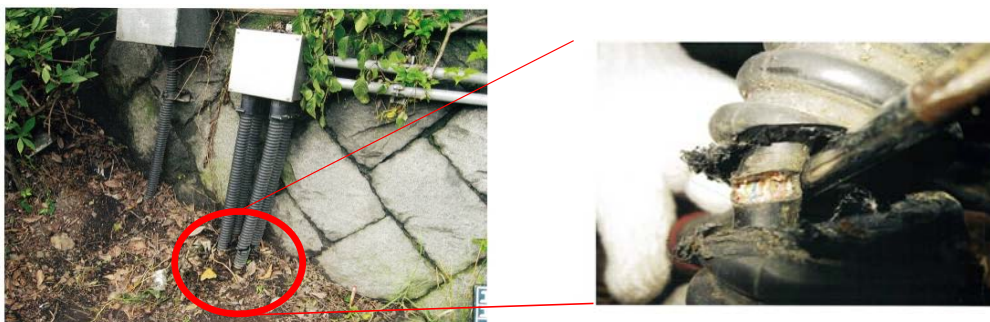
発生日時	平成 23 年 8 月 2 日 (火) 14 時 0 分			天候	晴
工事情報	道路系事務所 造園工事				
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度	
	-	-	-	交通量計測器ケーブル損傷	
事故概要	除草作業中、交通量計測器のケーブルを損傷したもの。				
	公衆損害事故-その他 公衆損害事故				

事故発生状況



・施工計画書では「植栽地内の草を人力で根より丁寧に抜き取り植物・構造物を傷めないように処理する。」となっていたが、当日現場にて「植栽地内の草が高く生い茂っているので作業のしやすい様、肩掛け式除草機械にて高刈した後、抜根除草作業をすること。飛散防止ネットを使用し、既存のケーブルには気をつけて作業すること。」と口頭指示をしていた。

→作業員が通信ケーブルの位置を把握できておらず、誤って地際から10cmの位置のケーブルに除草機械の刃を接触、損傷した



損傷状況

【事故発生原因】

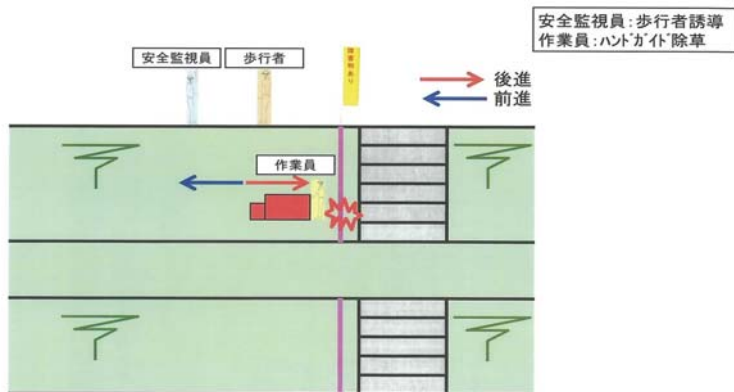
- ・支障物に関して現場作業員に対する周知不足。
- ・支障物の現地確認を行わずに施工計画書の作業内容を変更したため。
など

【事故防止のポイント】

- ・支障物の位置を確認し、目印等を設置するなど作業員への周知・徹底を行う。
- ・支障物付近の作業については事前に養生を行う。
など

発生日時	平成 23 年 8 月 23 日 (火)			15 時 15 分	天候	晴
工事情報	河川系事務所 維持修繕工事					
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度		
	-	-	-			
事故概要	ハンドガイド式除草機械にて除草作業中、階段手すりの支柱を切断したもの。					
公衆損害事故-その他 公衆損害事故						

事故発生状況



損傷状況



- ・交通誘導員は堤防天端の歩行者を誘導
- ・階段手すり部分にはのぼり旗を設置

・支障物の箇所にはのぼり旗を設置し、周辺をあらかじめ肩掛式刈払機または人力で除草しておくことになっていた。

→この箇所においては、事前に除草することを忘れたことを認識していたが、手すりを目視で確認できたため大丈夫だろうと判断し、事前に除草せず作業を始めた。

・機械を後進した際に、草があったため支柱部を目視確認できず、接触し損傷させたもの。

【事故発生原因】

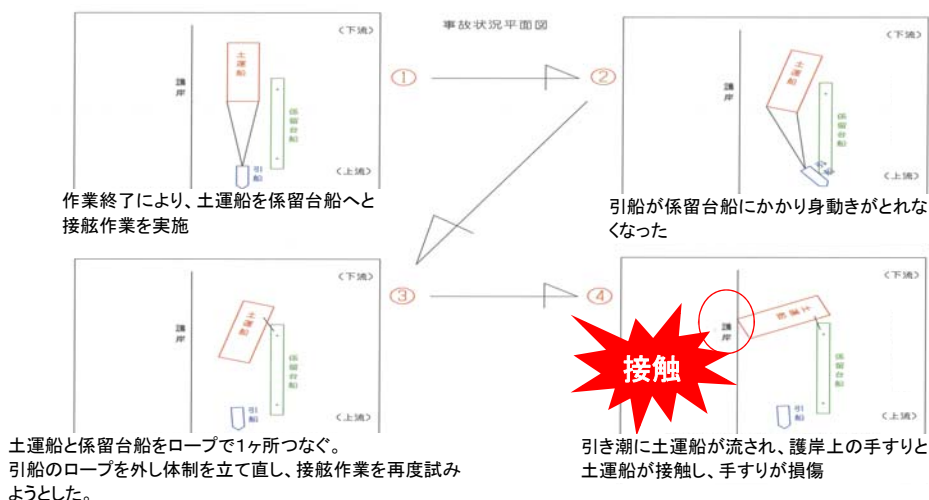
・決められた作業手順を守られていなかったため。 など

【事故防止のポイント】

・支障物付近の作業方法について、作業員に周知・徹底を行う。 など

発生日時	平成 23 年 10 月 7 日 (金)			15 時 8 分	天候	晴
工事情報	河川系事務所 河川しゅんせつ工事					
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度		
	-	-	-	手すり損傷		
事故概要	土運船を係留させた際に、岸壁に接触、手すりを負傷させたもの。					
公衆損害事故-その他公衆損害						

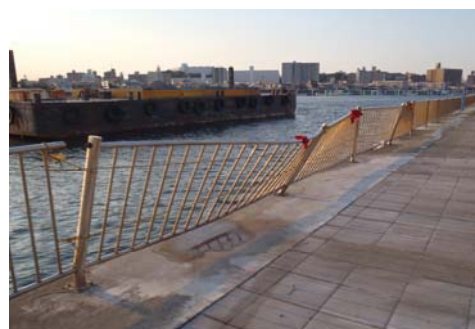
事故発生状況



作業終了により、引船が土運船係留場所(係留台船)に土運船(空船)を接舷作業しているとき、引船が係留台船に引っかかり身動きがとれなくなった。土運船と係留台船とで1箇所係留ロープを取り、引船のロープを外し引船の体制を立て直し接舷作業を再度試みたが引き潮に土運船が流され、護岸手摺と土運船が接触し、手摺が損傷した。



挟まったタイヤ



損傷状況

【事故発生原因】

・焦りがあり、1箇所しか係留しなかったため。

など

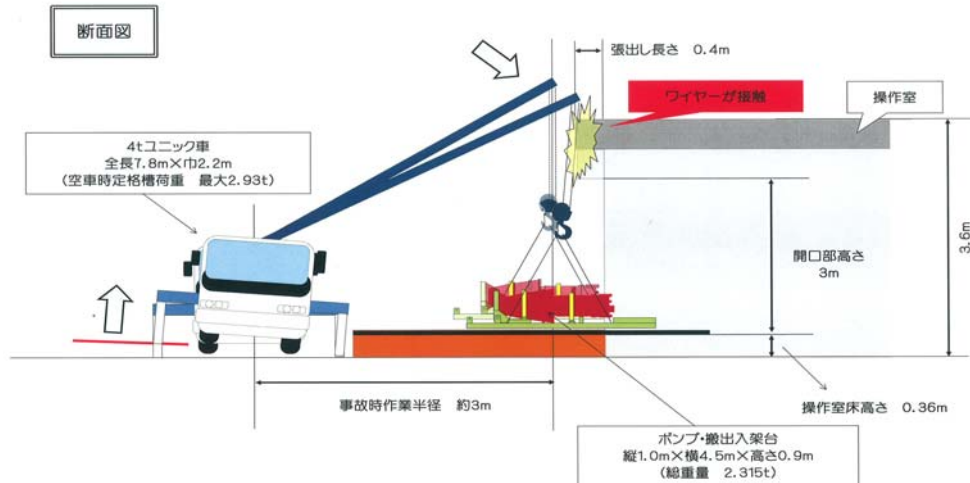
【事故防止のポイント】

・予期できない事態であっても落ち着いて対応できるよう、日ごろから作業員への安全教育を実施する。

など

発生日時	平成 23 年 11 月 7 日 (月) 15 時 45 分			天候	曇
工事情報	河川系事務所 機械設備工事				
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度	
	-	-	-	建屋損傷	
事故概要	ユニック車にてポンプの搬入作業中、車が傾き、ワイヤが建屋に接触、損傷させたもの。				
公衆損害事故-その他公衆損害					

事故発生状況



・作業手順書で定めていた4tユニック車のクレーン作業半径2.5mをオーバーして、約3mで作業を行ったため、ユニック車が傾き、建屋に接触。



作業状況



損傷状況

【事故発生原因】

・ユニック車の規格に応じた作業内容が守られてなかったため。 など

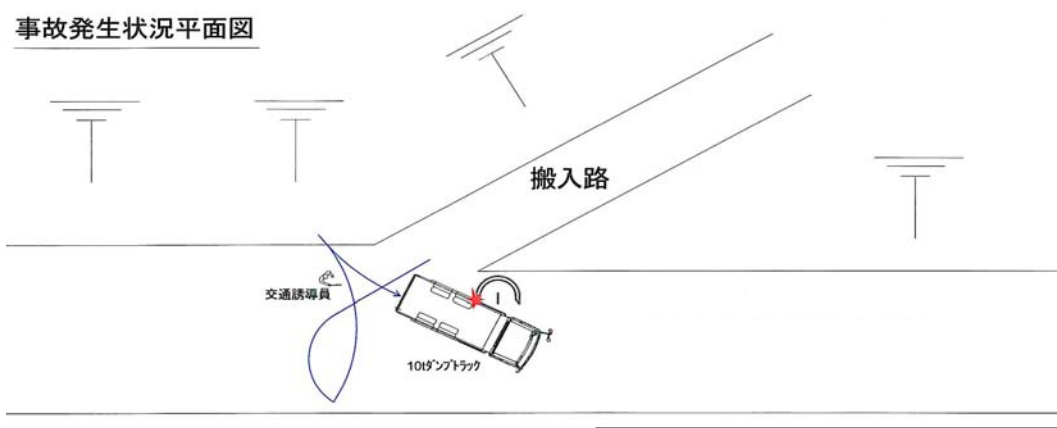
【事故防止のポイント】

・決められた作業手順書どおり作業するよう作業員に周知・徹底する。
 ・計画した作業内容が守られているか確認できるような方法を検討し、作業員に周知・徹底する。 など

発生日時	平成 24 年 1 月 12 日 (木) 10 時 50 分				天候	晴
工事情報	公園系事務所 造園工事					
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度		
	-	-	-	車止め損傷		
事故概要	土砂運搬中、車止めのポールに接触、損傷させたもの。					
公衆損害事故-その他公衆損害						

事故発生状況

事故発生状況平面図



搬入路から管理用通路に入る際、鋭角であるため、切り返して左折しようとした。一度、切り返して再度直進しようとした際にサイドバンパーを車止めに接触させ損傷させたもの。



事故発生状況

【事故発生原因】

- ・誘導時の周囲確認不足によるもの。
 - ・運転手の左後方確認不足によるもの。
- など

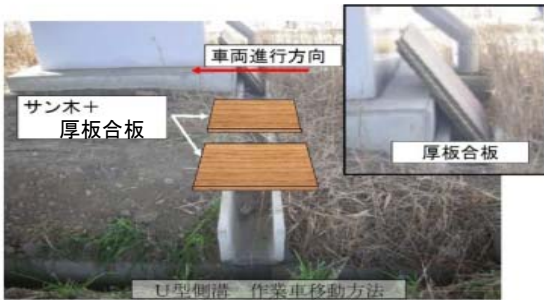
【事故防止のポイント】

- ・適切な誘導を実施するよう作業員に周知・徹底する。
- ・車両安全運転教育の徹底。 など

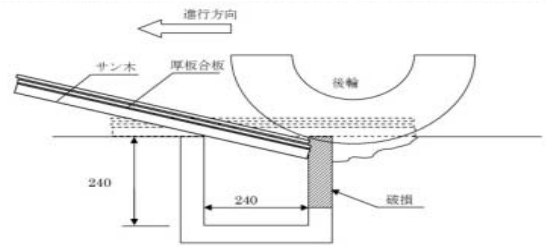
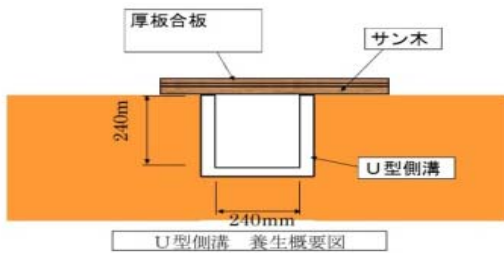
発生日時	平成 24 年 1 月 18 日 (水) 11 時 40 分			天候	晴
工事情報	道路系事務所 業務				
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度	
	-	-	-	側溝損傷	
事故概要	高所作業車で側溝上を通過しようとした際に、側溝を損傷させたもの。				
公衆損害事故-その他公衆損害					

事故発生状況

○養生状況



■断面図



・橋梁点検。
 ・高所作業車の移動中、後輪が横断する時に、U型側溝上に設置していた養生板が外れ、後輪が直接U型側溝に載ったため、側溝の側壁面が破損したもの。



側溝損傷状況

【事故発生原因】

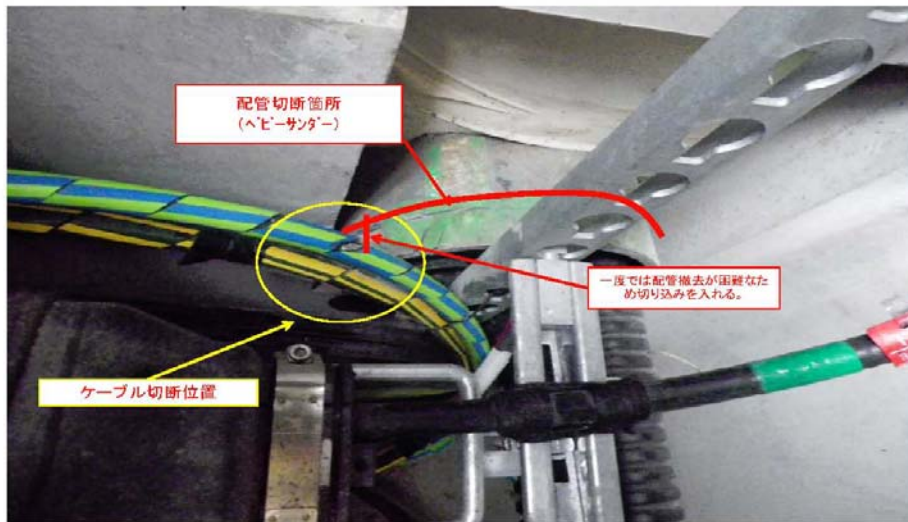
・高所作業車の規格に対して、養生が不十分だったため。 など

【事故防止のポイント】

・周辺地盤状況を確認した上で養生を行い、養生に不備がないか確認する。
 ・土嚢等で養生を強化する。 など

発生日時	平成 24 年 2 月 6 日 (月) 11 時 40 分			天候	曇
工事情報	道路系事務所 通信設備工事				
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度	
	-	-	-	光ケーブル損傷	
事故概要	塩ビ管をベビーサンダーで切断・仕上げ作業中、光ケーブルを損傷させたもの。				
	公衆損害事故-その他公衆損害				

事故発生状況



- ・末端処理のため、ベビーサンダーにて塩ビ管の切断を実施。
- ・ケーブルを手で押さえて切り込みを入れていた際に、ベビーサンダーのカバーが死角となりケーブルの接触に気がつかず、損傷させたもの。
- ・ケーブルの防護等はしていなかった。

【事故発生原因】

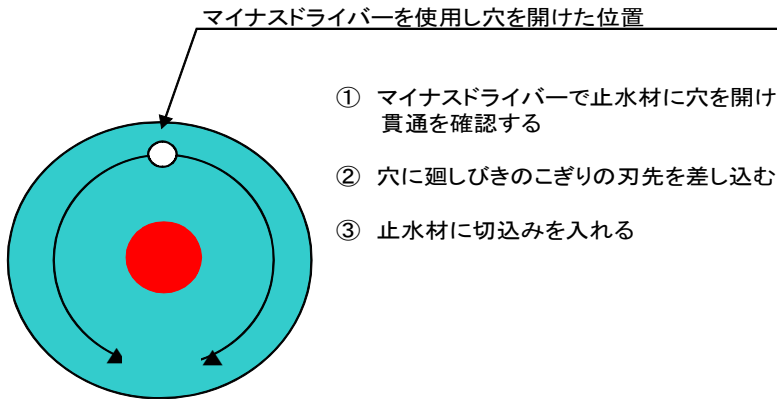
- ・切断作業に支障となるケーブルを養生せずに作業をおこなったため。
など

【事故防止のポイント】

- ・損傷の恐れがある作業については、事前にケーブルを安全な場所へ動かす、または保護してから作業するよう計画を立てて実施する。
など

発生日時	平成 24 年 2 月 27 日 (月)			11 時 15 分	天候	晴
工事情報	河川系事務所 維持修繕工事					
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度		
	-	-	-	光ケーブル損傷(通信に影響なし)		
事故概要	ハンドホール止水材撤去作業中、光ケーブルを損傷させたもの。					
公衆損害事故-その他公衆損害						

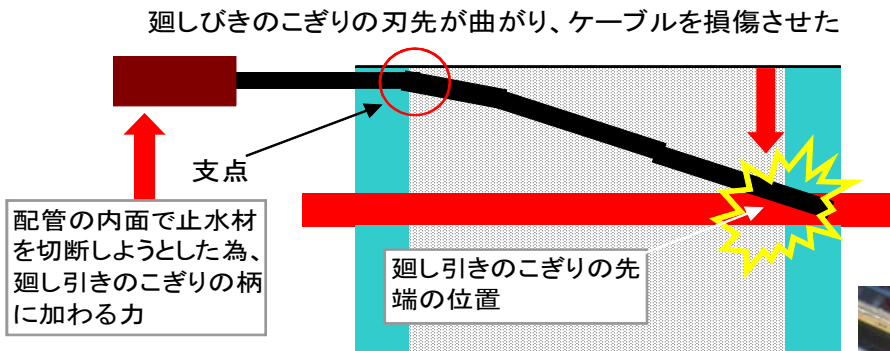
事故発生状況



・左記のような方法で止水材除去をおこなっていた。

・のこぎりで切り込みを入れた際に、刃先が曲がり、ケーブルを損傷させたもの。

・作業員3人が同様の作業を行い、3本損傷。



損傷状況

【事故発生原因】

・ケーブルを損傷させないための作業方法の検討が不十分であったため。
など

【事故防止のポイント】

・損傷の恐れがある作業については、損傷させない作業計画を立て実施する。
など